

2023 年度 環境活動レポート



(目次)

1. 組織の概要
2. 環境方針
3. 環境目標とその実績
4. 環境活動計画の内容、評価及び次年度の取組
5. 環境関連法規への違反・訴訟などの有無
6. 代表者による EA21 全体評価と見直し結果表

対象期間 2023 年 6 月～2024 年 5 月

2024 年 8 月 30 日 曾根工業株式会社

1. 組織の概要

① 事業所名及び代表者

曾根工業株式会社 代表取締役社長 曾根 章喜

② 所在地

静岡県掛川市国安 24-13

③ 環境管理責任者氏名及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者 曾根 章喜 (社長)

担当者 吉野 由喜子 (不在時 : 曾根 章喜)

連絡先 TEL : 0537-72-4133

FAX : 0537-72-3194

Eメール : sone-kogyo@mtg.biglobe.ne.jp

④ 事業活動の主な内容

自動車用防振ゴム金具、サスペンションブッシュ、メータ用ケース、
電線ターミナルなどの金属プレス部品の製造

⑤ 事業の規模

事業項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	
① 要製品の売上高	百万円	76.5	71.4	94.3	
② 従業員数 (内、派遣社員)	名	8 (0)	8 (0)	7 (0)	
③ 事業所の面積	土地	m ²	2,300	2,300	2,300
	建物	m ²	720	720	720

⑥ 会社の沿革

1964年04月	大浜町千浜にて個人創業
1991年05月	業務拡張により現在地（大東町工業団地）に工場を新築し、 移転
1993年06月	株式会社に改組し、現在に至る。

2. 対象範囲

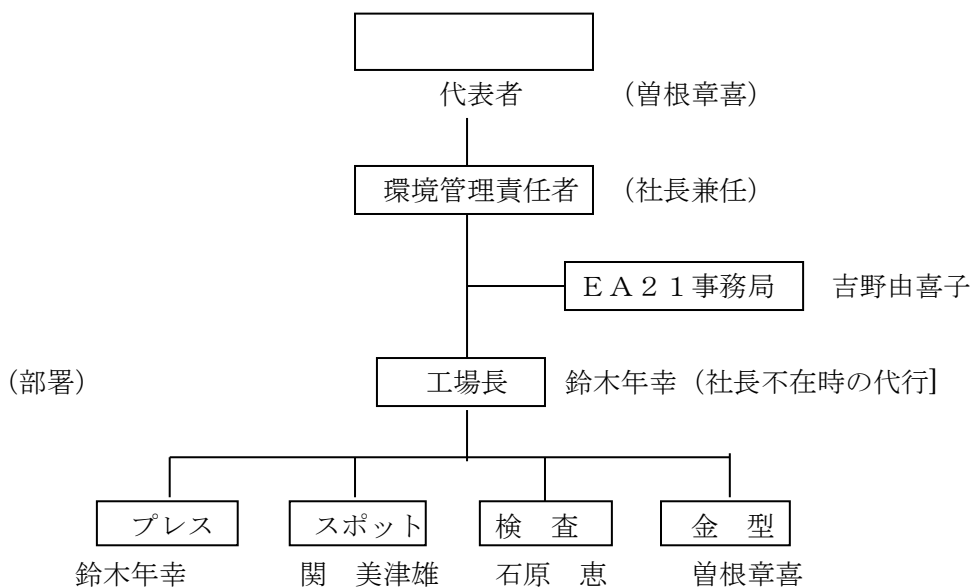
対象組織 曾根工業株式会社 (全社で取得) 本社・工場

対象活動 自動車用防振ゴム金具、サスペンションブッシュ、メータ
用ケース、電線ターミナルなどの金属プレス部品の製造

曾根工業株式会社

EA21組織

平成28年6月1日作成



役割・責任及び権限

(図役割・責任及び権限一覧表)

職位	役割・責任	権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> EA21の最高責任者 環境方針の策定及び改定 EA21に関する経営資源の確保・分配 環境管理責任者の任命 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする EA21全体の評価と見直し 効率的な実施体制の構築と全従業員への周知 次の承認 環境管理マニュアル 環境目標及び環境活動計画 環境活動レポート 	EA21の構築・運用・維持・改善に関する全権限
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 社長不在時のEA21代表者の代理執行 EA21システムの構築・運用・維持・改善の実施 不在の場合は工場長が代行 	EA21の構築・運用・維持・改善に関する実務上の権限

職 位	役割・責任	権 限
環境 管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・「代表者による全体評価と見直し」に必要な情報の提供と改善指示の是正処置 ・文書・記録類の確認又は承認 	
EA21 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・共通文書、記録の作成、維持及び保管管理 ・緊急事態の試行の実施 ・EA21 地域事務局の窓口 	環境管理責任者の指示により、左記に関する事項の全部署に指示する権限
工場長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の指示事項の周知、実行 ・自組織内の手順作成、維持と運用管理 ・部門内への次の周知 <ul style="list-style-type: none"> a.環境方針 b.環境目標及びその達成状況の報告 c.環境活動計画及び実施状況の報告 d.自組織内の内部コミュニケーションの実施 	左記の事項に関し、自組織内に対し指示する権限
全従業員等	<ul style="list-style-type: none"> ・手順及びルールの遵守 	—
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・環境改善の提案、環境改善の実施 ・エコアクション 21 活動を推進する 	—

環境方針

曾根工業株式会社は、金属プレス加工による「良心的な物作り」を会社の方針としています。そして地球環境の保全に努めて企業活動を行います。

また、当社は、自動車部品等の製造業として、事業活動や製品が及ぼす環境への負荷を継続的に削減することを重要課題として、以下の項目について全社員で取り組みます。

1. 二酸化炭素の発生を削減するため、省エネに努める。
2. 廃棄物発生を削減に努め、発生した廃棄物の再資源化を行う。
3. 水資源使用量の削減のため、節水に努める。
4. グリーン購入に努める
5. 地域環境保全のため、環境関係法令等の遵守に努める。
6. 全社員が環境改善に取り組む意識を持つように、環境に関する教育を実施する。
7. この環境方針は全社員に周知させるため、社内に掲示する。

2011年1月6日改訂

2008年10月28日制定

代表取締役社長 曾根 章喜

3. 環境目標とその実績

当社における2023年度（2023年6月～2024年5月）の実績を把握し、（2024年度）から（2026年度）までの目標を、次のとおり設定した。

※二酸化炭素排出係数は2023年度楽天エナジー0.494中部電力0.393を使用

※売り上げ実績に比例した目標値に変更した。（本年売上／前年売上×前年実績×（1-削減率）＝目標値）

番号	環境目標項目	指標	単位	前年実績 月平均	2023年度（2023/6月～2024/5月）				2024年度	2025年度
					目 標		実績値	達成率		
					目標策定基準	目標値				
A	B=A×前年比×（1-削減率）	B	C	D=B/C						
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	2,692	前年実績月平均×前年比の 1.0%削減	3,518	4,079	86.2%	前年実績×前年比の 1.0%削減	前年実績×前年比の 1.0%削減
1-1	電力使用量の削減活動の推進	電力使用量	千kwh	6,029	前年実績月平均×前年比の 1%削減	7,879	7,787	101.2%	前年実績×前年比の 1%削減	前年実績×前年比の 1%削減
1-2	化石燃料の削減活動の推進	自動車燃料 使用量	リットル	59.3	前年実績月平均×前年比の 1%削減	77.5	80.8	95.9%	前年実績×前年比の 1%削減	前年実績×前年比の 1%削減
①	ガソリンリフトの使用削減	ガソリン 使用量	リットル	3.3	前年実績月平均×前年比の 3%削減	4.2	0.0	OK	前年実績×前年比の 3%削減	前年実績×前年比の 3%削減
②	バッテリーリフトの使用拡大									
1-3	太陽光発電によるCO ₂ 削減		kg-CO ₂	944.1	前年並み	-	820.3	-	前年並み	前年並み
2	廃棄物排出量の削減 混合ごみの排出回数削減	コンテナ 1回/年	m ³	0.29	前年並み 3.5m ³ コンテナの回数1回	0.29	0.87 3回	33%	現状維持	現状維持
3-1	本業に関する項目	不良品		0	不良0の維持	0	0	100.00%	現状維持	現状維持
3-2	材料ロスの削減	ロス削減	本	3	錆の発生本数減少	3本以下	1本	OK	前年度より減らすこと	前年度より減らすこと
5	総排水量の削減	上水使用量	m ³	98 (年間)	前年実績月平均の現状維持	98	65.0	150.8%	前年実績の 現状維持	前年実績の 現状維持
6	法規制の遵守への対応	騒音測定	dB	基準内	敷地境界での測定	65dB以内	61dB	OK	基準内	基準内
7	工場周辺の美化	清掃活動		実施	道路、水路の清掃		実施	OK	全員参加	全員参加
8	グリーン購入	購入努力		購入	リスト参照して購入		購入した	OK	リスト参照して購入	リスト参照して購入
9	緑化活動の実施	朝顔、豆類		実施	日よけ代わりになること		良好	-	日よけになること	日よけになること
9-1	グリーンカーテンの実施									

I. 目標管理対象外としたもの ①灯油は、暖房用で冬季限定使用のため目標対象外とした。

②加工油については削減が難しく適正使用を目指すことにする。

II. 環境目標とその実績の評価については別紙にて

前年比については1.32で計算しています。

購入電力会社が変わったので排出係数が変更になりました目標値の設定には係数の変更も考慮してあります。

3. EA21環境目標計画書（2024年度～2026年度）曾根工業㈱

作成:2023年6月1日

承認	確認	作成

なお目標は売り上げ実績の変動と購入電力の排出係数を考慮することにする。
前年比=前年売上/本年売 排出計数0.267→0.454

環境目標	28年度の主な取り組み項目	責任者	担当者	管理項目		中期目標計画			配慮項目					
				単位		2024年度	2025年度	2026年度	方針	負荷	取組	法的	その他	
1.二酸化炭素排出量の削減 ・目標:前年実績X前年比(売上)の1%削減	1-1.電力使用量の削減(累計管理) 前年売りに比例した目標設定	社長	事務局	kg-CO2	目標値	前年実績月平均 X前年比の1.0%減	前年実績月平均 X前年比の1.0%減	前年実績月平均 X前年比の1.0%減	○	○	○			
	1-2.化石燃料の削減(累計管理)													
1-1.電力使用量の削減 ・削減目標:前年実績月平均 X前年比(売上)の1%減	電力使用量の削減 前年売りに比例した目標設定	工場長	事務局	千kwh	目標値	前年実績月平均 X前年比の1.0%減	前年実績月平均 X前年比の1.0%減	前年実績月平均 X前年比の1.0%減	○	○	○			
	①エア配管漏れの確認と修理の実施 (毎月1日、聴覚による確認)	工場長	事務局		指標	エアホースの交換	エアホースの交換	エアホースの交換	○	○	○			
1-2.化石燃料の削減活動の推進 (・社有車燃料)	①自動車燃料使用量の削減(累計管理) 前年売りに比例した目標設定	社長	事務局	リットル	目標値	前年実績月平均 X前年比の1.0%減	前年実績月平均 X前年比の1.0%減	前年実績月平均 X前年比の1.0%減	○	○	○			
	②バッテリーフォークリフトの利用増 ガソリンリフトの使用削減	社長	社長		指標	リフトのガソリン消費3% 削減	リフトのガソリン消費3% 削減	リフトのガソリン消費3% 削減	○	○	○			
1-3太陽光発電によるCO2削減	1-3太陽光発電による二酸化炭素削減 発電量による削減量(累計管理)	社長	社長	kg-CO2		削減量の確認	削減量の確認	削減量の確認	○	○	○			
2.廃棄物排出量の削減 ・削減目標:前年並み	①混合ごみ排出量の削減(累計管理)	事務局	事務局	m ³	目標値	前年実績現状維持	前年実績現状維持	前年実績現状維持	○	○	○			
	②混合ごみの分別強化による削減 (再資源化の強化)	工場長	事務局		指標	分別の励行	分別の励行	分別の励行	○	○	○			
3.本業に関する項目	①社内不良品の削減 不良内容の調査分析及び対策	社長	工場長		指標	不良の分析と対策	不良の分析と対策	不良の分析と対策	○	○	○			
	②生産の効率化と材料ロス削減 コイル材保管時の防錆管理	社長	工場長		指標	継続	継続	継続	○	○	○			
4.化学物質使用量の削減	①機械の日常点検の実施により機械の故障に よる油漏れの防止、加工油の使用法の改善	社長	社長 工場長		指標	日常点検の実施	日常点検の実施	日常点検の実施	○	○	○			
5.総排水量の削減 ・上水道使用量 現状維持	上水使用量の確認(累計管理)	社長	事務局	m ³	目標値	前年実績現状維持	前年実績現状維持	前年実績現状維持	○	○	○			
	①水道配管等からの水漏れの点検の実施 (使用量の監視、目視による確認)	社長	社長		指標	日常点検の実施	日常点検の実施	日常点検の実施	○	○	○			
6.法規制の遵守への対応	①定期的な騒音測定の実施	社長	事務局		指標	測定の実施	測定の実施	測定の実施	○	○	○	○		
7.工場周辺の環境美化	①道路の除草、清掃、水路掃除 工場内の除草	社長	全員		指標	奉仕活動をする	奉仕活動をする	奉仕活動をする	○	○	○			
7.グリーン購入の実施	①グリーン商品の購入	社長	総務		指標	リストにより優先購入 する	リストにより優先購入 する	リストにより優先購入 する	○	○	○			
8.緑化活動の実施	①グリーンカーテンの実施 豆類、朝顔は自生するようになった。	社長	社長		指標	豆類など	豆類など	豆類など	○	○	○			

3. 2023年度環境目標及び環境活動計画及び実績 (2023年度：2023年6月～2024年5月)



※進捗管理方法：進捗実績把握は毎月行い、3ヶ月ごとに評価を行う。

二酸化炭素排出係数はエナリス、楽天エネルギー、2023年度0.494を使用
実施状況評価 ◎大変良い ○良い □普通 △もう少し ×悪い - 未実施

Table with columns for Target, Method/Action, Responsible Person, Role, Management Item, and monthly performance data (June to May). It includes sections for CO2 emissions reduction, waste reduction, and other environmental goals.

4. 環境活動計画の内容、評価及び次年度の取組

環境活動結果の個別評価

次年度継続 ○

打ち切り ×

目標及び活動計画の内容	結果の評価	次年度継続
1- 1. 電力使用量の削減活動の推進 電力使用量の削減	売上の増加により使用量も増加しましたが売上増加分以上に電力使用量は増加しておらず目標は達成しております	○
1-1. エア配管漏れの確認と修理の実施 (聴覚による確認)	エア漏れは日常の確認によって発見されず結構ロスになります	○
1-2. 化石燃料の削減活動の推進 自動車燃料使用量の削減	売上増加により使用量も増加しましたが目標を達成できました。	○
1- 2-1. バッテリーフォークリフトとの併用により ガソリンリフトの使用量の削減	従来のガソリン車との併用使用によりガソリンの使用量は減りましたが1年間追加補給はしていません	○
1- 3. 太陽光発電によるCO2削減	天候にもよりますがほぼ前年並みの発電量となりました。	○
2. 廃棄物排出量の削減 混合ごみ排出量の削減	年間混合ごみの容器を3.5㎡X3回の排出でした 年間排出量は10.5㎡でした。たまっていた廃材を処分したためで	○
2-2. 混合ごみの分別強化 (再資源化の強化)	実施中であり継続する。	○
3. 本業に関する項目		○
3-1 社内不良品の削減	常に新たな不具合が発生するため継続	○
3-2 生産性の向上と材料ロスの削減 コイル材の防錆によるロスの削減	湿度の多い時期には錆びも発生しやすくいろいろ対策して錆の発生をぼうししています。かなり成果はでています。	○
4. 化学物質使用量の削減	加工油の使用量をなるべく減少できるよう対策しています。	○
4-1 加工油の使用方法の改善		○
5. 総排水量の削減 使用量の記録現状維持	現状維持の範囲内で目標は十分達成できました。 使用量は65㎡前年よりマイナス33㎡でした。	○
5-1. 使用量の監視による水漏れ点検 2ヶ月ごとの使用量から判断する。	使用量の監視から異常な水漏れの発生はありませんでした	○
6. 法規制の遵守への対応	定期的に測定しています、許容範囲内でした。	○
6-1. 定期的な騒音測定の実施		○
7. 工場周辺の環境美化	定期的に除草等行われています。	○
7-1 道路の除草、清掃、水路の掃除など		○
8. グリーン購入に努める。	なるべく優先的に購入するように努めている。	○
9. 緑化活動の実施 グリーンカーテンの実施	かなり効果的である	○

< 全体的な評価 >

売り上げが前年比30パーセントほど増加したためCO2の発生が増加してしまいました。

5.環境関連法規への違反、訴訟などの有無

1.環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日2024年5月31日

評価者 環境管理責任者 曾根 章喜

法規、条例	条鋼	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守結果
騒音規制法	第5条	規制基準値の遵守	65 d B以下	○
	第6条	特定施設の届出	コンプレッサー、機械プレス	○
	第8条	特定施設の数等の変更の届出	変更なし	該当なし
振動規制法	第5条	規制基準値の遵守	65 d B以下	○
	第6条	特定施設の届出	コンプレッサー、機械プレス	○
	第8条	特定施設の数等の変更の届出	変更なし	該当なし
浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施記録あり	○
	第5条	浄化槽の使用開始報告書の提出	使用開始から30日以内に県知事に提出	○
	第7条	設置後の水質検査の実施	設置3ヶ月経過後の日から5か月の間	○
	第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法廷検査の実施（1回/年）実施記録あり	○
廃棄物処理法	第6条の2第6項	市町のルールに従った分別と排出及び業者委託	契約済み	○
	第12条第2項	廃棄物の悪臭・飛散・地下浸透防止	保管場所での環境被害なし	○
	第12条第2項	産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	掲示板設置済み	○
	第12条第5項	産業廃棄物収集運搬業者並びに処理業者との委託契約	契約済み	○
	第12条第9.10項	産業廃棄物多量排出事業者の処理計画及び実施状況報告	前年度1000トン超えるとき	該当なし
	第12条の2第8項	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	特管排出業者のみ有資格者を選任	該当なし
	第12条の3第1項	マニフェストの交付	A票	○
	第12条の3第2.6項	マニフェストの保管	A票～E票：5年間	○
	第12条の3第6項	マニフェストの期間内返却の確認	B2及びD票：90日以内E票：180日以内	○
	第12条の3第7項	産業廃棄物管理票等状況報告	6月30日までに許可権者に報告	報告済み
第12条の3第8項	産業廃棄物管理票の期間相未返却時の許可権者への報告	返却期間終了後30日以内に許可権者に報告	該当なし	
静岡県産業廃棄物の適正な処理にする条例	第8条	産業廃棄物管理責任者の設置	資格は問わない	○
	第10条	実地確認の実施と記録保持	優良業者に委託（優良業者は除外）	○
消防法	第9条の4	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱基準	市条例で定める	○
	第11条	指定数量以上の危険物保管の届出	指定数量以上は消防署への届出	該当なし
	第13条	危険物の取扱作業についての保安の監督	危険物取扱者の設置	該当なし
家電リサイクル法	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し・料金の支払	指定家電廃棄時のリサイクル料金の支払	該当なし
自動車リサイクル法	第8条	使用済自動車の引渡義務		該当なし
	第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払	該当なし
フロン排出抑制法	第16条	冷凍空調機器：全ての第一種特定機器が対象 ①自身での簡易点検（3ヶ月に1回以上）実施 圧縮機電動規定出力に応じた有資格者による定期点検 ②空調機(50kw以上) 1年に1回以上 ③空調機(7.5kw～50kw未満) 3年に1回以上 ④冷凍冷蔵機器（7.5kw以上）1年に一回以上	①が該当する 簡易点検の実施 エアコン2台スポットエアコン10台	○
	第41条	第一種特定製品廃棄物等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのへのフロン類の引渡義務	該当なし
RoHS指名／リーチ規制		RoHS指名/リーチ適合材料の使用及び適合製品の納入	納入先からの依頼に対して非含有証明書の発行、調査結果の報告	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例	第52条	騒音機銃の順守義務	準工業地域該当65 d B以下	○
	第53条	騒音特定施設の届出		○
	第55条	騒音特定施設変更の届出		該当なし
	第79条	振動基準の遵守義務		○
	第80条	振動施設の届出		○
リサイクル法	第82条	振動特定施設変更の届出		該当なし
	第4条	指定再資源化製品のリサイクル（適正廃棄）	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	該当なし

2.違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、近隣、利害関係者からの訴訟や苦情は過去3年間ありませんでした。



6.代表者によるEA21全体評価と見直し結果表

2024年8月30日
曾根工業株式会社

承認	確認	作成
		

インプット情報の収集と分析		
収集すべき情報	情報収集	収集した情報の分析結果(含む、改善の余地)
①環境への負荷の自己チェックデータ	■	前年度より生産が増加している関係から数値は増加しているが売り上げ増加分ほどではない。
②環境への負荷の取組チェックシートの評価結果	■	取り組みとしては良好であると思います。
③環境情報発生報告書	□	発生なし(処理の仕組みは構築できている)
④環境目標及び環境活動計画	■	売上の変化を考慮して前年比基準で削減目標を設定したため現実的
⑤法規制等の遵守状況チェック結果表	■	全て遵守できている。
⑥是正・予防処置報告書	□	発生なし
⑦その他	□	

全体評価と見直し	
改善要否と指示事項	経営資源ニーズ
1. 環境方針 特に変える必要はない	1. 人的資源 年々高齢化が進んでいる。
2. 環境目標及び環境活動計画 消費電力はほぼ目標を達成できた。売り上げ比で目標を作成して現実的な方法でした	2. 施設・設備 太陽光発電のパワコンが10年たって寿命になりつつあ5台あるため費用が掛かる。
3. 実施体制 高齢のため1人退職した。	3. 環境その他 台風などの自然災害の影響が心配される
4. EA21マニュアル、その他	

改善指示事項に対する実施フォロー結果(評価・コメント)	改善実施フロー
特になし	2024.8.30
	 

社長 → 改善関係者 → 社長(実施フォロー) → EA21事務局保管